



**新光商事** 株式会社  
Shinko Shoji Co., Ltd.

## 2006年 3月期決算説明会

決算の概要  
今後の取り組み

2006年5月19日

代表取締役社長 北井 暁夫

【証券コード:8141】

<http://www.shinko-sj.co.jp/>

# 資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業における技術トレンドの変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動

---

---

# 決算概要

---

---

## 中間期での見込みを上回る増収増益

娯楽機器向けシステム製品の売上拡大

自動車電装分野の堅調

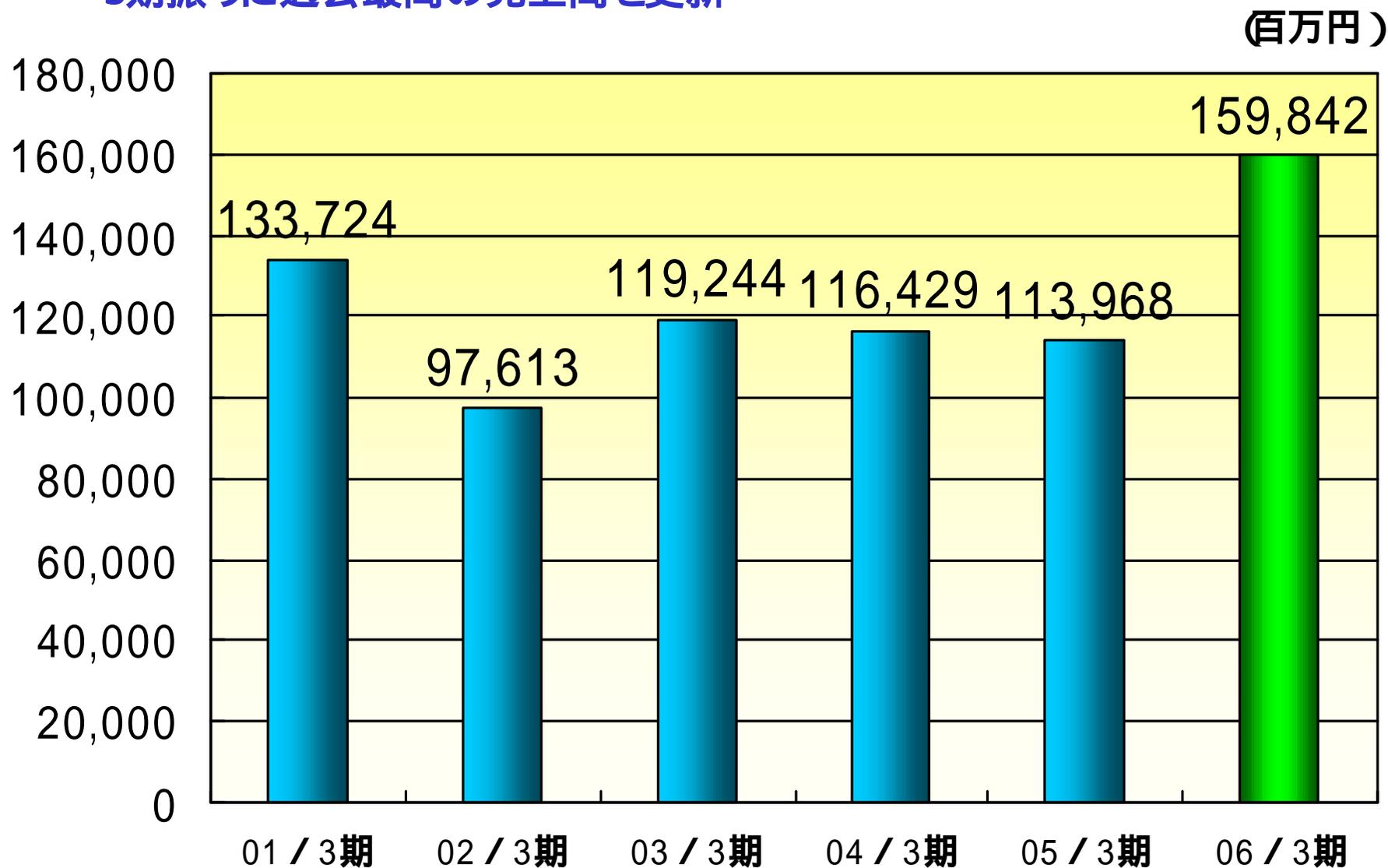
海外向け携帯電話用液晶パネル及び  
液晶ドライバ工が好調を維持

売上・利益とも過去最高 8円増配(予定)

(百万円)

	2005/3期	2006/3期	前期比
売上高	113,968	159,842	140.3%
売上総利益	10,119	13,339	131.8%
販管費	7,627	8,087	106.0%
営業利益	2,491	5,251	210.8%
経常利益	2,595	5,104	196.7%
当期純利益	1,593	2,982	187.2%
1株当たり当期純利益	68円46銭	128円51銭	+60円05銭
1株当たり配当金 (年間)	14円00銭	22円00銭 (予定)	+8円00銭 (予定)

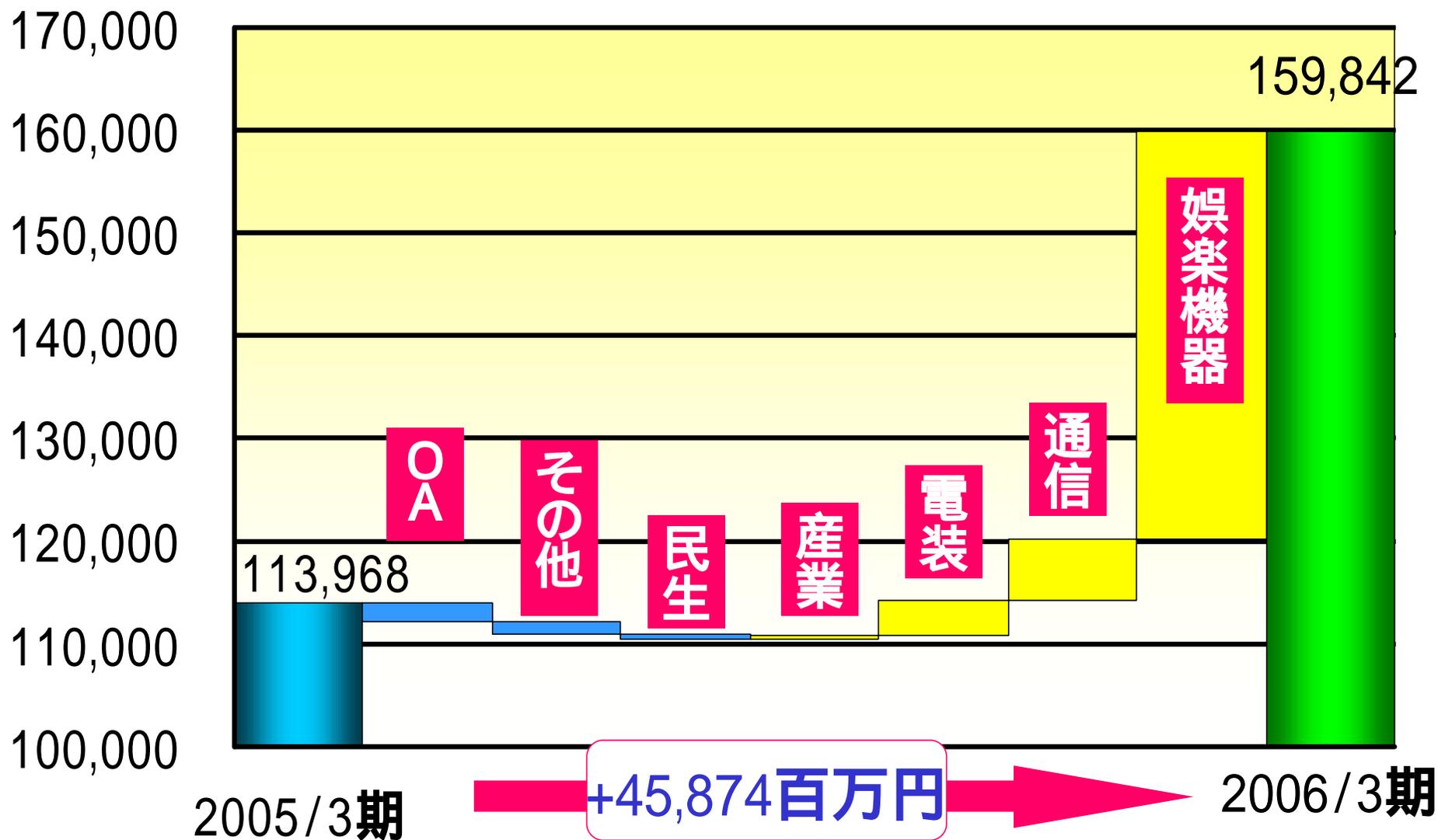
5期振りに過去最高の売上高を更新



# 売上高の増減要因

娯楽機器 通信・電装が伸長

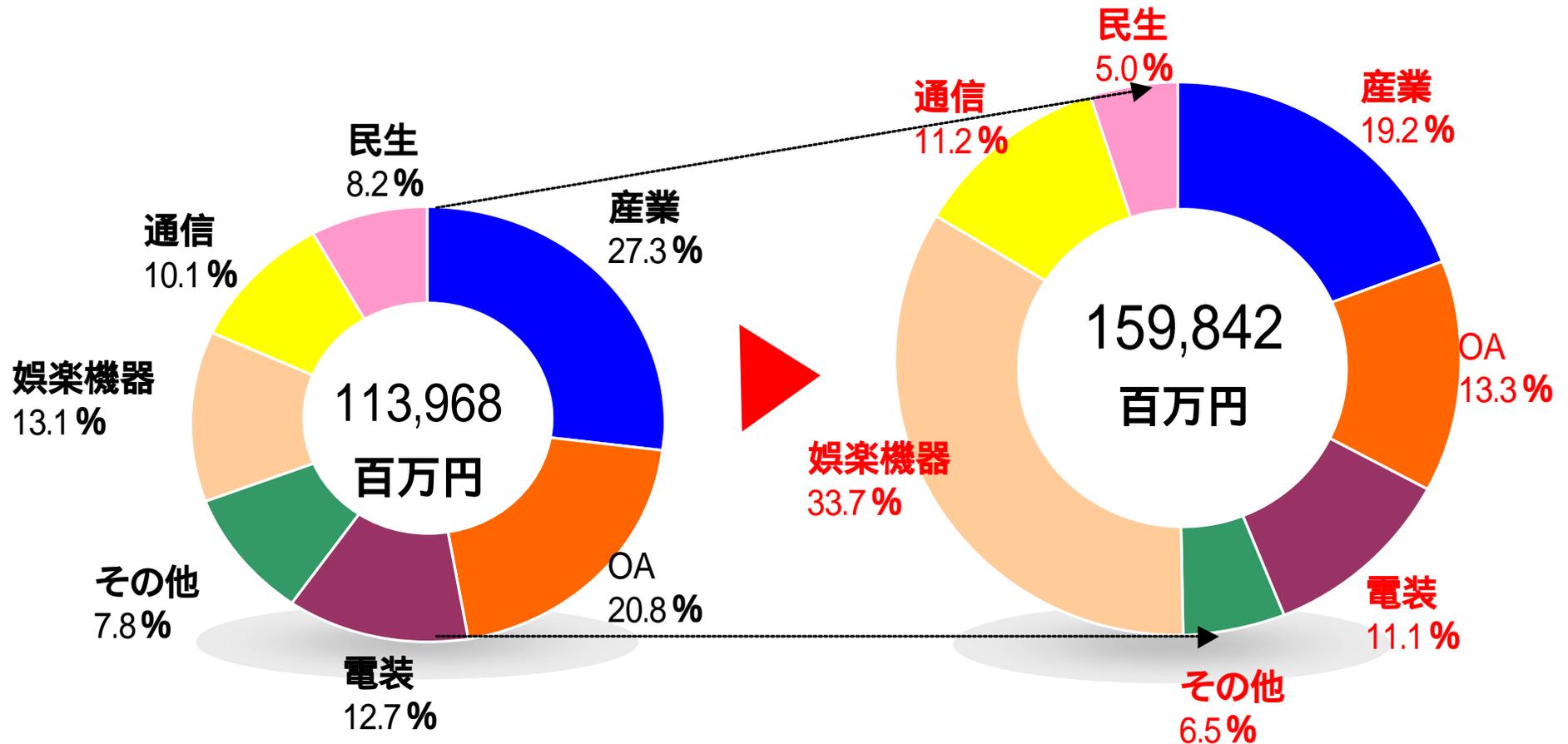
(百万円)



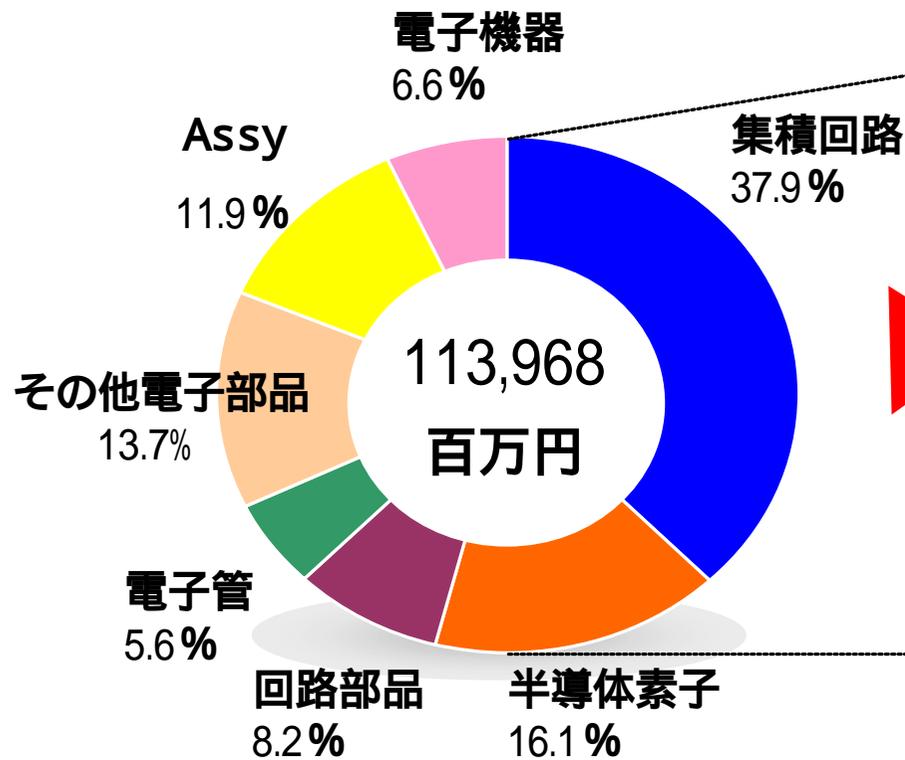
# 分野別売上高構成

【2005年3月期】

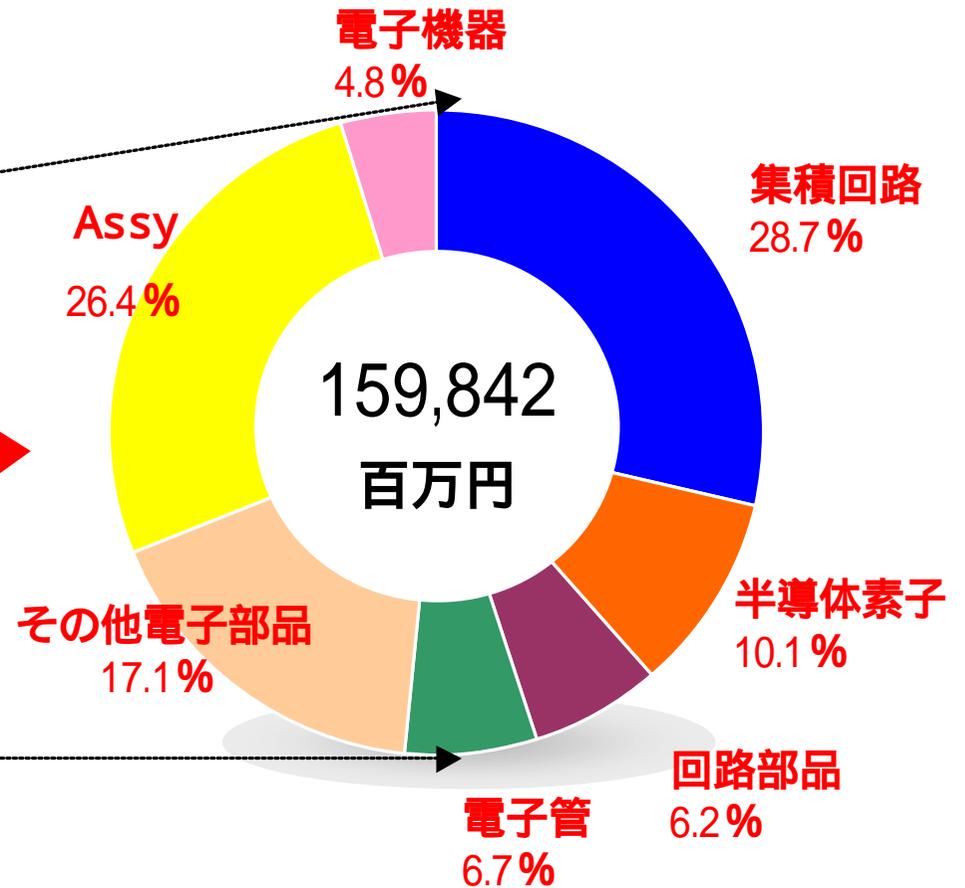
【2006年3月期】



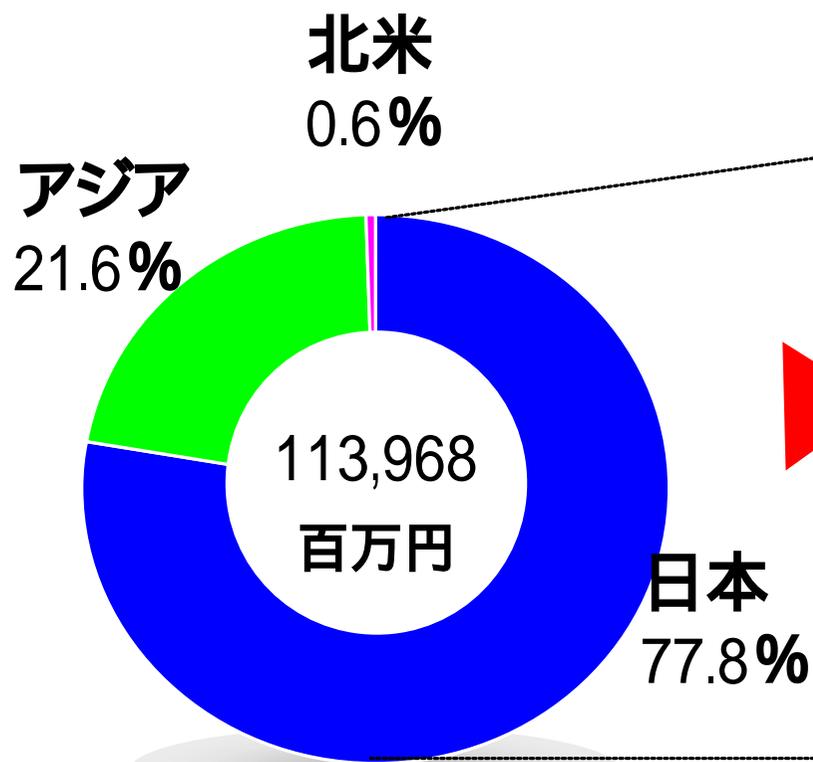
## 【2005年3月期】



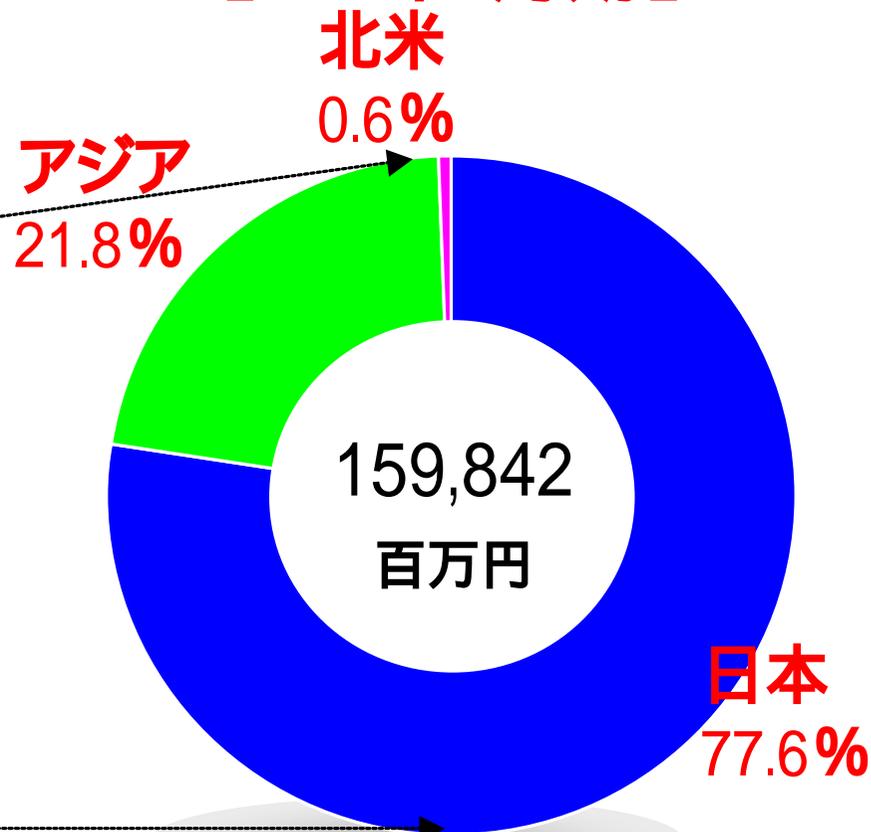
## 【2006年3月期】



## 【2005年3月期】



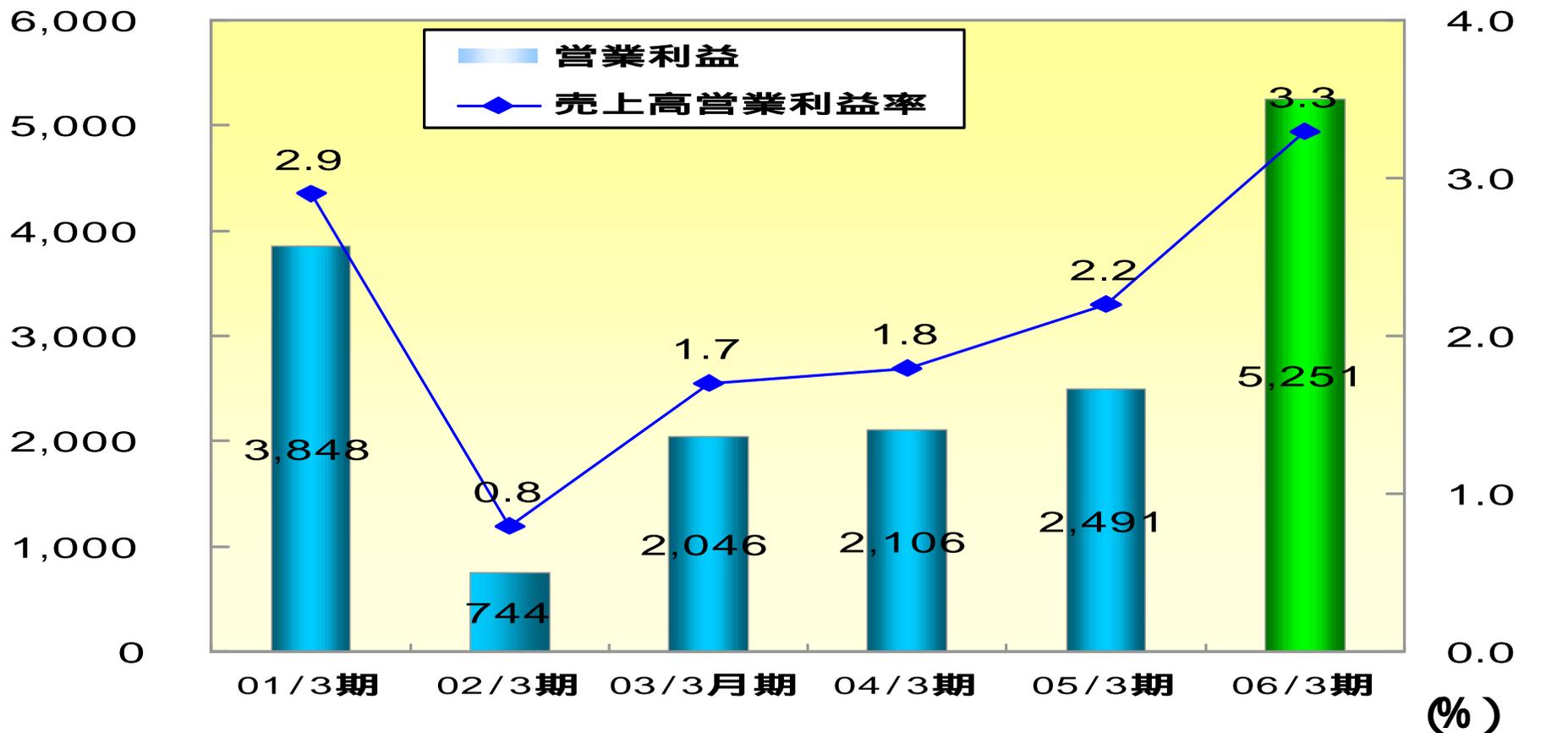
## 【2006年3月期】



# 営業利益 / 売上高営業利益率

5期振りに過去最高益を更新

(百万円)



	2001/3期	2002/3期	2003/3期	2004/3期	2005/3期	2006/3期
売上高総利益率	8.9	8.5	8.3	8.5	8.9	8.4
販管費率	6.0	7.7	6.6	6.7	6.7	5.1

	2005 / 3期	2006 / 3期	増減額
営業利益	2,491	5,251	2,759
経常利益	2,595	5,104	2,509
特別利益	110	24	86
うち 貸倒引当金戻入額	100	24	76
特別損失	76	330	254
うち、固定資産売却 除却損	12	104	92
投資有価証券評価損	56	65	9
減損損失	-	58	58
税金等調整前当期純利益	2,629	4,798	2,168
法人税等	1,036	1,816	780
当期純利益	1,593	2,982	1,388

# 要約貸借対照表

(百万円)

	2005 / 3期末	2006 / 3期末	増減額
<b>資産合計</b>	58,107	78,300	20,193
<b>流動資産</b>	51,127	70,410	19,282
<b>固定資産</b>	6,979	7,890	910
<b>負債合計</b>	23,421	40,311	16,889
<b>流動負債</b>	21,945	38,059	16,113
<b>固定負債</b>	1,475	2,251	775
<b>資本合計</b>	34,686	37,989	3,303

(百万円)

	2005 / 3期	2006 / 3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,982	8,152	5,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	899	930
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,752	125	1,626
現金及び現金同等物の期末残高	6,501	13,861	7,359

---

---

# 2007年3月期の見通し

---

---

## 高水準の売上、利益を維持

(百万円)

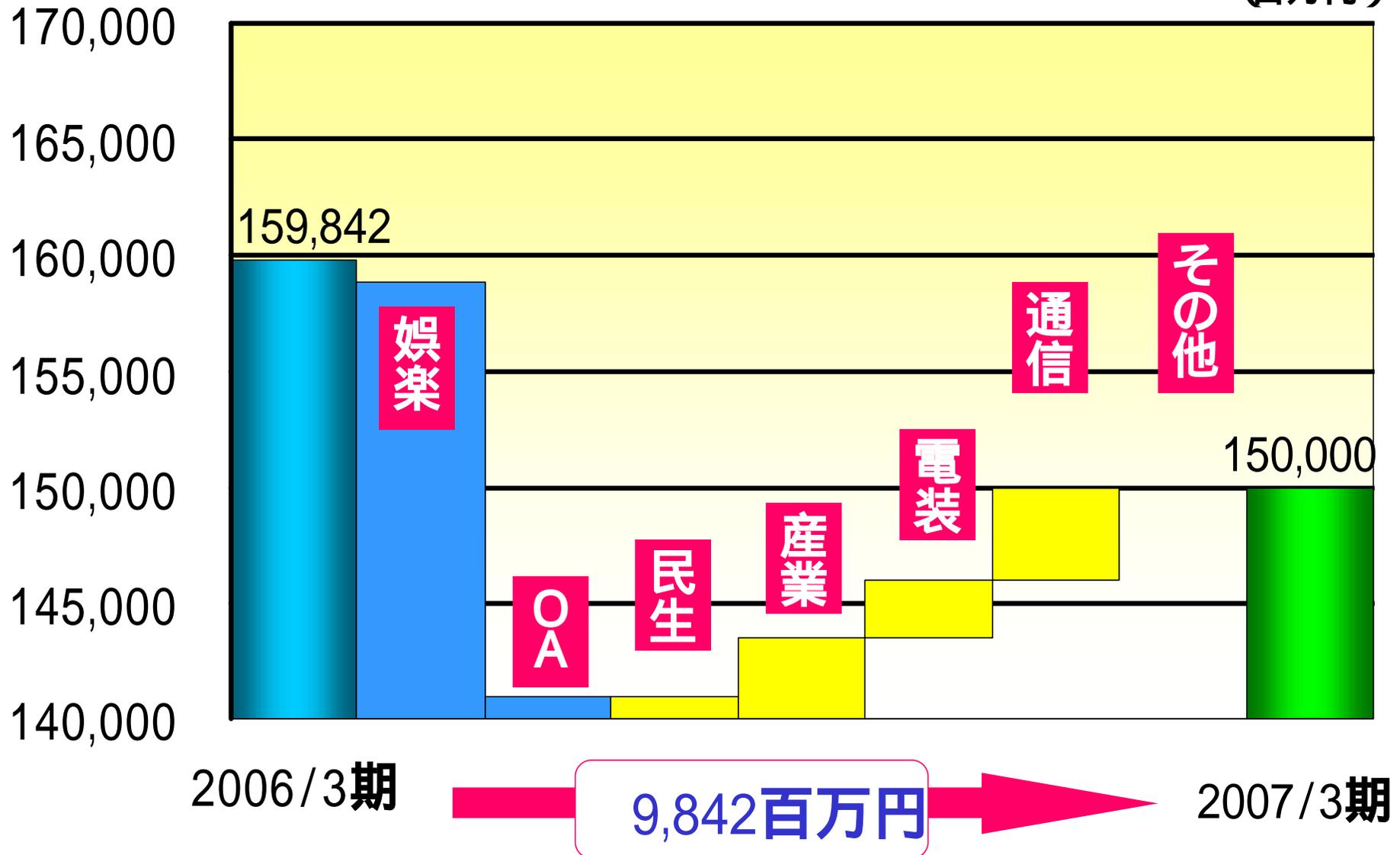
	2006 / 3期 実績	2007 / 3期 (見通し)	前期比
売上高	159,842	150,000	93.8%
営業利益	5,251	4,500	85.7%
経常利益	5,104	4,500	88.1%
当期純利益	2,982	2,800	93.9%

# 分野別の見通し

	トレンド	見通し
通信		海外向け携帯電話用 LCDドライバ 増加・LCDシートは堅調
電装		特にホンダ系が好調に推移
産業		インドネシア連結組入れ
民生		衛星放送受信機向け半導体復調
OA		PC周辺機器向けASIC減少
娯楽機器		期末発売予定機種の上は堅めに 計画

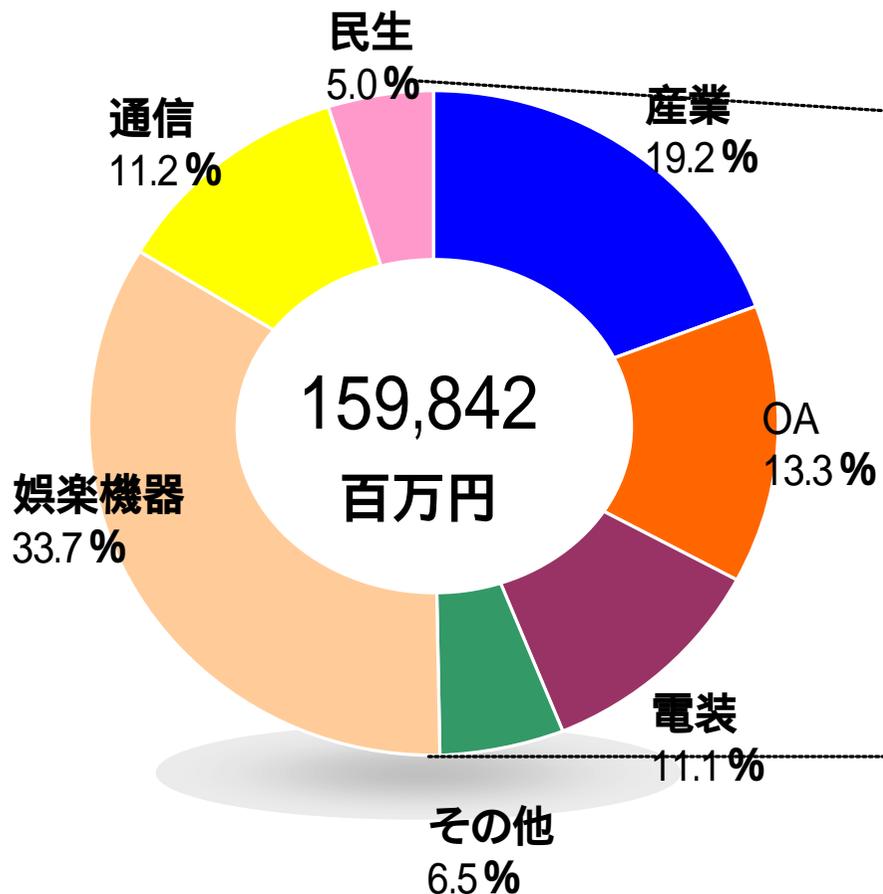
# 売上高見通しの増減要因

(百万円)

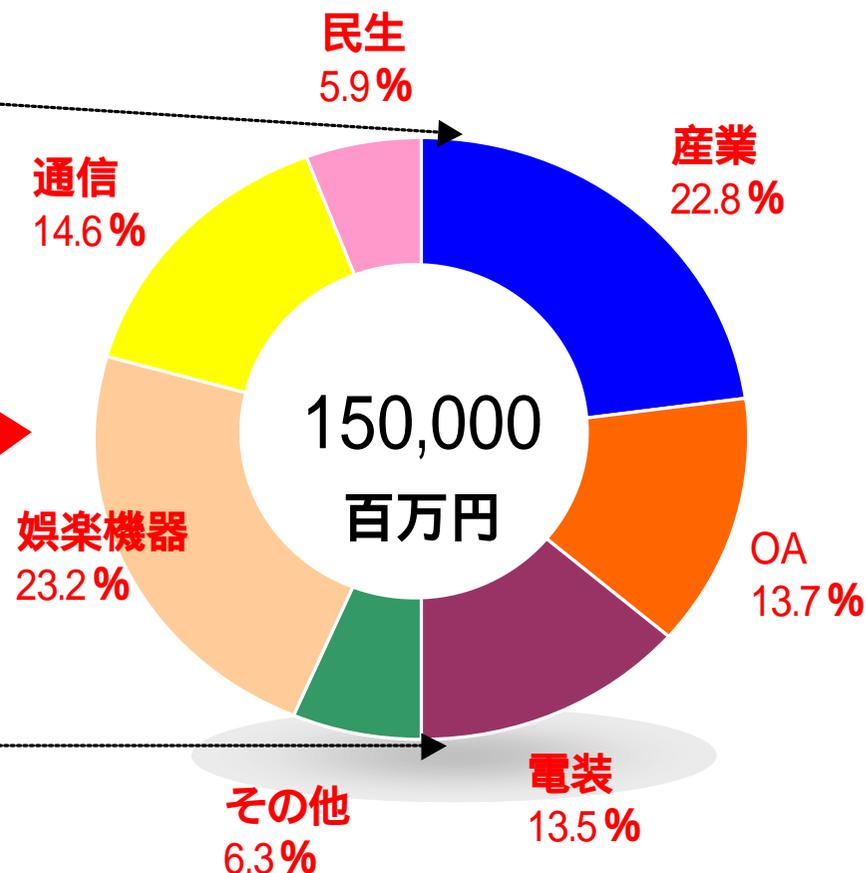


# 分野別売上高構成

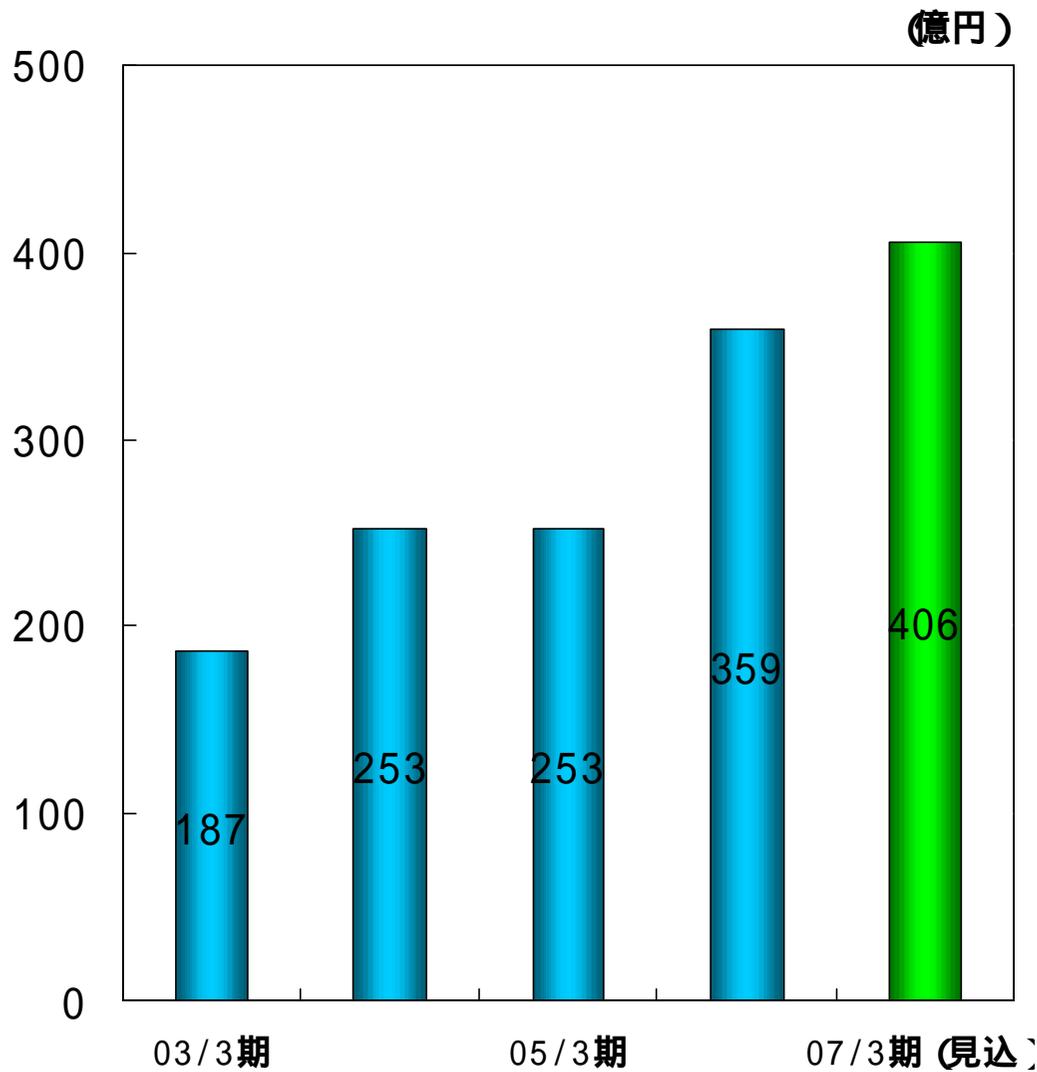
## 【2006年3月期】



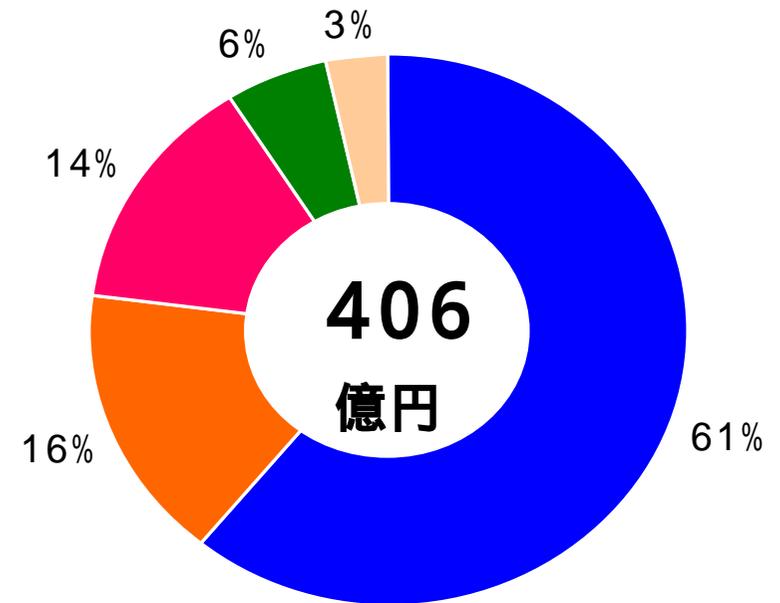
## 【2007年3月期】



# 海外売上高の推移



## 【2007年3月期】(見込)



- 香港
- 台湾
- シンガポール
- インドネシア
- アメリカ

1

## 半導体ビジネスの伸長 拡大

NECELとの協業強化による売上拡大

NECEL、TI、XILINXでのトータルソリューション提案力強化

高度なマイコンソフト開発力、ASIC回路設計力の活用 :75名 (グループ全体)

豊富な販売促進・FAE人員による技術サポート力強化 :125名 (グループ全体)

2

## 娯楽機器ビジネスの深耕 拡大

顧客 仕入先とのコラボレーション強化

国内外での調達力を活かした最適部品の提供

3

## グローバル対応

インドネシア現地法人の連結組入れ

自動車電装など海外移管ビジネスのサポート強化

香港での国際調達、ASSY/KITTINGビジネスの拡大

GCM Sの効果的な運用

中国ビジネスの強化 (上海現地法人の連結組入れ検討)

4

## 顧客階層別販売体制の強化

民生デジタル機器市場への本格参入

システム製品での市場開拓

小口取引サポートシステムの構築

# 株主還元について

1株当たり配当金 引き続き増配を予定

	2006/ 3期 実績	2007/ 3期 (見通し)
中間	10円 00銭	12円 00銭
期末	12円 00銭	12円 00銭
年間	22円 00銭	24円 00銭

単元株の見直し

1,000株 → 100株 2006年7月3日付